まちのわだい Town Topics

1/2 2015走り初め！ いなみ新春万葉マラソン大会

1月2日、「第43回いなみ新春万葉マラソン大会」が、サン・スポーツランドとその周辺コースで開催され、町内外から1,567人が参加しました。前日には雪が降り、また当日も寒風の吹く中開催されましたが、大勢の参加者はそれぞれのコースを元気よく走り抜けました。

会場では抽選会やぜんざいの無料サービスなどもあり、大会参加者は新年の1日を楽しく過ごしていました。

▲ いなっちとハイ・チーズ！

▲ 加古大池の給水ポイント

12/20～25 ～光・キャンドルのウインターナイト～ いなみ冬景色

12月20日から25日にかけて、いなみ文化の森で稲美町商工会青年部主催の、“いなみ冬景色　光・キャンドルのウインターナイト”が開催されました。20日の17：00に、高さ５ｍのＬＥＤツリーのほか、子どもの願い事などを書いたろうそくを並べたキャンドルタワーやイルミネーションなどにいっせいに点灯されると、稲美町の夜空に幻想的な光の風景が映し出されました。

▲ 入場行進する稲美町の消防団員

▲ 団長から表彰を受ける団員

1/11 加古郡消防協会出初め式

1月11日、平成27年加古郡消防協会出初め式を、稲美町立天満東小学校で行いました。

稲美町、播磨町の消防団員約420人のほか、稲美町婦人消防隊、加古川市東消防署稲美分署の皆さんが参加しました。

加古郡消防協会の加納協会長（播磨町消防団長）が新春を迎えるにあたり、「住民の生命と財産を災害から守ること」、「災害による被害を軽減すること」という消防団の使命について、新たな決意で努力するよう式辞を述べられました。その後、功績のあった個人及び団体に表彰の伝達が行われました。

1/11 Come Back 稲美っ子 Again ～すべての道は稲美に通ず～ 稲美町成人式

1月11日、いなみ文化の森コスモホールで成人式が開催されました。

この日町内で成人を迎えたのは288人（H6.4.2～H7.4.1）。艶やかな振袖やスーツに身を包んだ234人が、晴れやかな表情で式典に参加しました。

町長や町議会議長など来賓の祝辞の後、新成人を代表して稲美町成人式実行委員の井上彩香（あやか）さんが、「自らの未来のため、ひいては社会のために自覚と責任を持ち、何事にも積極果敢に取り組んでいきます」と「はたちのことば」を述べました。

その後各中学校の恩師からのビデオレターが上映されると、先生方からのメッセージに会場は大いに盛り上がりました。また各中学校のクラスごとの記念撮影もあり、参加した新成人は旧友との再会を懐かしんでいました。

▲「稲美町民憲章」を読み上げる成人式実行委員長の野村雄一（ゆういち）さん（右）、同委員の小西杏奈（あんな）さん（左）

旧友との再会に▶思わず笑顔

おめでとうございます 稲美町技能職者表彰

この表彰は、優秀な技能を有し、その技術を必要とする職業に長年にわたって従事し、地域社会の発展に貢献された個人をたたえるもので、今年度は６人が表彰されました。

〈表彰を受けた皆さん〉
前列右から
山本　勝見（かつみ）さん（自動車整備士）
丸尾　文雄（ふみお）さん（農業者）
南波（なんば）　昌壽（まさひさ）さん（建築大工）
嶋岡　義幸（よしゆき）さん（電気工事士）
唐木（からき）　康幸（やすゆき）さん（左官）
大西　公広（きみひろ）さん（造園工）

稲美町の学校給食　近畿農政局長賞７年連続受賞！

農林水産省が主催する「地産地消給食等メニューコンテスト」で稲美町の学校給食が７年連続で近畿農政局長賞を受賞しました。

受賞したメニューは、米粉をまぶした太刀魚（たちうお）の唐揚げ、ブロッコリーのおかか和（あ）え、ひじきごはん、青菜のみそ汁と牛乳です。

小学校と中学校の学校給食では、新鮮な地元産食材を主に使用しており、生産者との交流会を開くなどの食育への取り組みを盛んに行っています。

▲ 町内産のブロッコリー、小松菜を使用しています

播磨圏域８市８町による「連携中枢都市圏」制度の取り組みについてお知らせします

稲美町では、姫路市をはじめとする播磨圏域の８市８町と「連携中枢都市圏」制度（旧名称「地方中枢拠点都市」制度）のモデル事業に取り組み、姫路市との連携協約に向けた協議を進めています。

「連携中枢都市圏」制度について

「連携中枢都市圏」制度は、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化して経済を持続可能なものとし、住民が安心して快適な暮らしを営んでいくことができるよう、地方圏において、人口減少に対する、いわば「地方が踏みとどまるための拠点」づくりを目的とした制度です。連携中枢都市は、政令指定都市か中核市で、かつ、昼夜間人口比率がおおむね１以上であるなど一定の要件を満たす都市に限られ、現状では全国で61市、兵庫県内では姫路市だけが条件を満たしています。

取組状況について

現在、播磨圏域の８市８町は、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」を行うことにより、人口減少・少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成するため、圏域全体のメリットとなるような連携事業について協議・検討を行っており、稲美町は現在姫路市と連携協約に向けた協議を進めています。

※詳細については、姫路市ホームページ（http://www.city.himeji.lg.jp/s10/2212203/_31675.html）をご覧ください。

問合先　企画課政策・行革係
☎492－9130